

教育長 年頭所感



教育長 塩澤 雄一

未来社会を生きる子どもたちのために

新年あけましておめでとうございませす。年の始めに、子どもたちの未来と教育について思いを述べさせていただきます。

新しい技術が急速に進歩し、変化の激しい時代を迎え、これからそのスピードはもっと速くなることが予測されます。現在ある職業の約半数が、AIやロボットにとつかわられる一方、今までなかった職業も生まれるとも言われています。グローバル社会が到来する中、世界の人々と共に生きる社会が予想されます。

このような時代を生き抜いていく子どもたちに必要な力をつけていくのが教育の役割です。新しい課題に積極的に取り組む力、様々な人と共存していく力をつけていかなければなりません。そして、未来に夢を持ち、その夢に向かって努力する子どもを育てたいと考えます。

ICT教育の推進

区では、新しい時代に対応した教育

を積極的に進めています。その一つが各学校の教育用ICT環境の整備です。教員に授業用タブレットを配備し、大型画面でデジタル教科書等を活用して授業をすることができるようになりました。教室には無線LANを整備し、各校40台のタブレットパソコンを使い、児童・生徒はインターネット上の情報を得ることが出来ます。グループで考えをまとめてタブレット上にそれを記入すれば、教員は自分のタブレット上で、すべてのグループのまとめを一度に見ることが出来ます。実物投影機を使えば、小さな虫の観察も大型画面を見ながら学習できます。児童・生徒が主体的に学ぶ環境が整い、授業が大きく変わります。また、モデル校2校でプログラミング教育の試行も始まり今後全校で実施していきます。

英語教育の推進

グローバル化への対応として英語教育へも積極的に取り組んでいます。来年の本格実施の前に、本区では先行して小学校の英語の授業を実施しています。土曜授業でイングリッシュデューを設け、英語の授業を公開しました。「小学校の先生が英語の授業ができるのか」と懸念されましたが、さすが小学校全校、私もいくつかの学校の授業を見て、子どもたちと一体になって授業を進めている姿に安心して任せられると確信しました。

中学生には、英語の力を伸ばしたいと思う生徒に、国内で体験的に学ぶ

ングリッシュキャンプ、海外でホームステイなどをしながら学ぶオーストラリア派遣を行っています。体験した生徒は英語力だけでなく、グローバル社会を生き抜くために必要な力は何かを学び、その体験を多くの友人に伝えていきます。

全員参加の教育を進めよう

未来を見ずして子どもたちに力をつけるため、区では多くの事に取り組んでいます。どんな時代が来ようとも、基礎学力として文章を読み書きする力や算数・数学的な考え方などはすべての子どもたちに付けさせたい、生き抜いていくためには健康で強い体を作りたいと願っています。それを実現するために、あきらめず、最後までやり通す力をつける学力・体力のチャレンジ検定を行っています。心を育てる教育も重視しています。みんなで考え合う道徳の授業の充実や、「いじめを絶対にさせない、許さない」ことを誓うため、いじめ防止条例の制定を進めています。

教育で最も大切なのは、学校現場で児童・生徒を直接指導する教員の力です。今本区には優秀な教員が集まり育っています。そして、本区の最大の強みである区民相互のつながりの強さを活かし、地域や保護者による「全員参加」の教育を進めてまいります。

天宮 久嘉氏の任期満了に伴い、平成30年12月23日付で、望月 京子氏が教育委員会委員に就任しました。

教育総務課 ☎(5654) 8449



教育委員会委員 大里 豊子



教育委員会委員 齋藤 初夫



教育委員会委員 日高 芳一



教育委員会委員 望月 京子



教育長職務代理者 塚本 亨